



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 株式会社G S I クレオス 上場取引所 東
コード番号 8101 URL <https://www.gsi.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉永 直明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 小野 国広 (TEL) 03-5418-2122
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	70,850	17.1	1,722	53.4	1,802	40.6	1,297	42.7
2023年3月期第2四半期	60,508	15.0	1,123	△6.5	1,281	6.2	909	△2.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,028百万円(13.4%) 2023年3月期第2四半期 1,788百万円(△10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	105.83	—
2023年3月期第2四半期	74.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	70,517	27,066	38.4
2023年3月期	69,412	25,929	37.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 27,066百万円 2023年3月期 25,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	73.00	73.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	4.5	2,800	53.0	2,800	56.6	1,950	10.2	159.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	12,629,942株	2023年3月期	12,629,942株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	362,610株	2023年3月期	367,565株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	12,264,545株	2023年3月期2Q	12,258,968株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. (参考) 海外売上高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の回復が進み、緩やかな景気回復基調にあるものの、世界的な原材料や資源の価格高騰、欧米をはじめとする金融引き締めや中国の景気減速が世界経済に及ぼす影響に加え、地政学的リスクも懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループは、パーパス「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」のもと、現在進行中の中期経営計画“GSI CONNECT 2024”に掲げる2つの挑戦「過去最高純利益の更新」「資本市場からの信頼度の向上」に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比10,342百万円、17.1%増収の70,850百万円となり、売上総利益は、前年同期比1,403百万円、20.4%増益の8,271百万円となりました。営業利益は、前年同期比599百万円、53.4%増益の1,722百万円、経常利益は、前年同期比520百万円、40.6%増益の1,802百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比388百万円、42.7%増益の1,297百万円となり、親会社株式に帰属する四半期純利益では第2四半期連結累計期間としては過去最高を更新しました。

② セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<ファイバー>

個人消費の回復により、インナー用機能糸・生地が取引が順調に推移し、レグ用糸の取引が伸長したことなどから、売上高は前年同期比21.3%増収の36,850百万円となり、営業利益は前年同期比423.4%増益の262百万円となりました。

<アウター>

婦人アパレル子会社が苦戦を強いられたものの、アパレル製品のOEM・ODM取引や欧米向け生地の出取引が堅調な需要を背景に増加したことなどから、売上高は前年同期比24.7%増収の10,100百万円となり、営業利益は前年同期比18.9%増益の495百万円となりました。

<インナー>

個人消費が回復する中、原材料価格高騰や為替変動による価格転嫁も進み、売上高は前年同期比13.0%増収の6,636百万円となり、営業利益は257百万円(前年同期は138百万円の営業損失)となりました。

<セミコンダクター>

半導体市況が依然として調整局面である中、製造装置用部材向け原料や中国製ウエハなどの継続的な需要により、売上高は前年同期比5.8%増収の5,696百万円となったものの、米国の対半導体輸出規制の影響により中国の販売子会社の取引が減少したことなどから、営業利益は前年同期比36.8%減益の309百万円となりました。

<ケミカル>

機能性樹脂・フィルムの取引は、国内需要が堅調に推移し、塗料原料の取引は、海外での販売が伸長したことなどから、売上高は前年同期比12.6%増収の6,731百万円となり、営業利益は前年同期比18.5%増益の364百万円となりました。

<ホビー&ライフ>

ホビー関連の取引は、海外向けの需要が回復し、国内も堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比5.6%増収の2,604百万円となったものの、化粧品原料の取引が、需要停滞により低調に推移したことなどから、営業利益は前年同期比1.8%減益の282百万円となりました。

<マシナリー&イクイップメント>

産業機材の取引は、前年同期比で受注状況が低調であり、売上高は前年同期比3.9%減収の2,231百万円となったものの、大型の機械装置販売および関連技術サービスの提供が利益貢献したことなどから、営業利益は前年同期比952.7%増益の62百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、棚卸資産の増加などにより、前期末比1,105百万円増加の70,517百万円となりました。

負債は、借入金の減少などにより、前期末比32百万円減少の43,450百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による株主資本の増加や為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比1,137百万円増加の27,066百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは4,296百万円の収入(前年同期は1,364百万円の支出)となりました。主な要因は売上債権の減少などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは46百万円の支出(前年同期は266百万円の収入)となりました。主な要因は投資有価証券の取得による支出などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,132百万円の支出(前年同期は1,266百万円の収入)となりました。主な要因は借入金の返済による支出などによるものです。

これらに、換算差額111百万円、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加174百万円を加味した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比348百万円増加の8,756百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期累計期間において前年同期の業績を大幅に上回る結果となりましたが、中東やロシア・ウクライナをはじめとする不安定な世界情勢、資源・原材料価格の高騰や為替変動等、先行きの不透明感が増しているため、2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)につきましては2023年5月15日公表の業績予想を変更していません。今後の業績動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,352	8,756
受取手形	1,486	1,586
電子記録債権	2,118	2,544
売掛金	31,798	31,572
商品及び製品	10,179	10,837
仕掛品	1,041	1,082
原材料	164	188
その他	2,958	2,094
貸倒引当金	△450	△321
流動資産合計	57,650	58,340
固定資産		
有形固定資産	3,741	3,694
無形固定資産		
のれん	379	888
その他	252	229
無形固定資産合計	631	1,117
投資その他の資産		
投資有価証券	5,483	5,495
その他	1,905	1,868
投資その他の資産合計	7,389	7,364
固定資産合計	11,761	12,176
資産合計	69,412	70,517
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,959	26,389
電子記録債務	—	353
短期借入金	12,821	10,009
1年内返済予定の長期借入金	83	90
未払法人税等	341	408
引当金	519	458
その他	3,731	3,719
流動負債合計	41,456	41,429
固定負債		
長期借入金	1,153	1,111
退職給付に係る負債	72	83
その他	800	825
固定負債合計	2,026	2,020
負債合計	43,482	43,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	859	859
利益剰余金	15,377	15,780
自己株式	△287	△284
株主資本合計	23,135	23,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,725	1,701
繰延ヘッジ損益	△15	74
為替換算調整勘定	1,053	1,725
退職給付に係る調整累計額	31	22
その他の包括利益累計額合計	2,793	3,524
純資産合計	25,929	27,066
負債純資産合計	69,412	70,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	60,508	70,850
売上原価	53,639	62,578
売上総利益	6,868	8,271
販売費及び一般管理費	5,745	6,549
営業利益	1,123	1,722
営業外収益		
受取利息	20	25
受取配当金	56	84
持分法による投資利益	178	8
為替差益	—	13
その他	110	93
営業外収益合計	366	226
営業外費用		
支払利息	73	104
持分法による投資損失	40	19
為替差損	77	—
その他	16	21
営業外費用合計	208	145
経常利益	1,281	1,802
特別利益		
出資金売却益	—	39
特別利益合計	—	39
特別損失		
固定資産除却損	1	2
その他	—	7
特別損失合計	1	10
税金等調整前四半期純利益	1,280	1,832
法人税、住民税及び事業税	314	478
法人税等調整額	55	56
法人税等合計	370	534
四半期純利益	909	1,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	909	1,297

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	909	1,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△244	△23
繰延ヘッジ損益	86	90
為替換算調整勘定	1,050	672
退職給付に係る調整額	△14	△8
その他の包括利益合計	878	730
四半期包括利益	1,788	2,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,788	2,028

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,280	1,832
減価償却費	185	196
のれん償却額	42	82
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△50
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△4
受取利息及び受取配当金	△77	△110
支払利息	73	104
為替差損益(△は益)	5	△1
有形固定資産除却損	1	2
出資金売却益	—	△39
売上債権の増減額(△は増加)	△4,735	2,110
棚卸資産の増減額(△は増加)	△15	△201
その他の資産の増減額(△は増加)	274	975
仕入債務の増減額(△は減少)	2,488	△152
その他の負債の増減額(△は減少)	△630	△247
その他	△49	204
小計	△1,188	4,699
利息及び配当金の受取額	84	115
利息の支払額	△73	△104
法人税等の支払額	△186	△413
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	4,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11	△56
投資有価証券の取得による支出	△95	△149
出資金の売却による収入	—	214
出資金の払込による支出	△25	△35
貸付けによる支出	△41	△62
貸付金の回収による収入	481	—
その他	△40	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	266	△46

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,112	△3,109
長期借入金の返済による支出	△45	△34
セール・アンド・リースバックによる収入	96	—
リース債務の返済による支出	△100	△92
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△796	△895
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,266	△4,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	160	111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	329	229
現金及び現金同等物の期首残高	8,078	8,352
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	174
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,407	8,756

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコン ダクター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	30,386	8,097	5,873	5,384	5,975	2,466	2,323	60,508	—	60,508
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	—	18	0	2	15	48	91	△91	—
計	30,393	8,097	5,891	5,384	5,978	2,482	2,371	60,599	△91	60,508
セグメント損益	50	416	△138	489	307	287	5	1,419	△296	1,123

(注) 1 セグメント損益の調整額△296百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分しない
 全社費用△354百万円が含まれております。

2 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来の「繊維関連事業」を「ファイバー」「アウター」「インナー」に分割し、「工業製品関連事業」を「セミコンダクター」「ケミカル」「ホビー&ライフ」「マシナリー&イクイップメント」に分割することで、第1四半期連結会計期間より2区分から7区分の報告セグメントに変更しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコン ダクター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	36,850	10,100	6,636	5,696	6,731	2,604	2,231	70,850	—	70,850
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7	—	23	—	7	13	0	52	△52	—
計	36,857	10,100	6,659	5,696	6,739	2,618	2,231	70,902	△52	70,850
セグメント損益	262	495	257	309	364	282	62	2,034	△311	1,722

(注) 1 セグメント損益の調整額△311百万円には、セグメント間取引消去79百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△391百万円が含まれております。

2 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アウター」において、第1四半期連結会計期間より株式会社SHAREの連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては573百万円であります。

3. (参考) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	29,873	5,114	2,412	37,400
II 連結売上高				60,508
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	49.4	8.5	4.0	61.8

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	36,649	6,218	2,669	45,537
II 連結売上高				70,850
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	51.7	8.8	3.8	64.3

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

米州・・・・・・アメリカ、ブラジル

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。